

地域に活力をもたらす新農業プロジェクト創出セミナー 2019

～農業を核として、地域で稼ぐ新たな産業の創出を！～

北海道農業は、農家数の減少や就業者の確保に大きな課題を抱え、海外との競争、農業政策、気象問題、消費者ニーズ等、大きな変化の中にあります。しかし、北海道において農業は、地域を維持していくうえで欠くことができない産業であり、このような状況の中から、これからの北海道農業を改革・強化していくためには、他産業の企業力を取り込み、行政のバックアップを得て、連携による新たなプロジェクト創出に取り組む必要があるのではないのでしょうか。

本セミナーでは、北海道農業が地域において果たす役割の重要性を再認識し、農業を核として地域に波及する新しい産業プロジェクトの創出に取り組む先進事例をより掘り下げて検証し、農業と、企業・行政が連携した新たな地域活性化プロジェクトの創出について考えます。

《開催内容》

日時

令和元年12月9日（月） 14:00～17:20
17:30から交流会（有料・参加任意）

場所

TKP札幌駅カンファレンスセンター2階
（ルーム2B）※右図参照
【札幌市北区北7条西2丁目9番】

対象者

地域農業について考える農業者、企業や自治体関係者等、北海道農業との連携による新たなプロジェクト展開に関心のある方

定員

50名 **（参加無料）**

申込方法

裏面を参照ください。

カリキュラム

※カリキュラムは変更となる場合があります。



時間	項目	内容	講師（敬称略）
14時00分	開会	開会挨拶	
14時05分 ～ 14時55分	イントロダクション （農業を核とした新プロジェクト の必要性と可能性）	なぜ北海道では、農業を起点とした新産業が必要なのか。 ◆北海道の農業経営の現状と課題 ◆新たな視点や発想による人材確保の必要性 ◆地域における行政・金融機関等との多様な協力の必要性 ◆物の価格からの脱却	(株)GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文 (以下の事例発表の 進行を含む)
	(休憩5分)	(演台等設営)	
15時00分 ～ 15時40分	事例Ⅰ（農泊や企業研修など 新しい業態に挑戦する 農業者の取組）	新しい業態を創出しながら地域の魅力を幅広く発信する農業者の取組事例に学ぶ。 ◆脱サラから第三者継承による新規就農 ◆全てが挑戦！ やりたいと思ったことを形にする ◆地域の魅力を発信して社会貢献の役割を担いたい ◆他の事例者からのコメント、会場との質疑応答	えづらファーム 代表 江面 暁人
15時40分 ～ 16時20分	事例Ⅱ（肉牛農家による経営 安定化に向けた取組）	事業整理により安定した経営を目指す二代目肉牛農家の取組事例に学ぶ。 ◆事業多角化の代償、逆境からのスタート ◆「ブラウンスイス牛コンビーフ」誕生秘話 ◆業界の常識ではなく顧客のニーズこそ正解 ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	(有)コスモス 代表取締役 安藤 智孝
	(休憩10分)		
16時30分 ～ 17時10分	事例Ⅲ（収益性の高い農業を 目指す農業者の取組）	規模拡大と効率化により収益性の高い農業の実現を目指す農業者の取組事例に学ぶ。 ◆チャレンジ精神と行動力がモットー ◆戦略的な取組には選択と集中が大切 ◆特別栽培への思い、農産物の付加価値向上の向上を図る ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	(有)東條産業 代表取締役 東條 真澄
17時10分 ～ 17時20分	まとめ	新産業プロジェクトの創出に向けた農業との多様な連携・協力の方向性とは？	(株)GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文
17時30分 ～ 18時30分	交流会 （名刺交換会）	ソフトドリンクと軽食を用意し、参加者相互の懇談によるネットワーク形成の場とする	各講師も参加予定

講師のご紹介

■岩井 宏文 (いわい ひろふみ)

(株)GB産業化設計 代表取締役。北海道の農業の現場に精通し、農業現場を飛び回りながら、北海道農業の高い潜在力を活かした、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え、「しくみ」を設計・構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。

■江面 暁人 (えづら あきと)

えづらファーム 代表。平成21年に20代で夫婦で脱サラ、農業研修を経て、平成24年、遠軽町で畑作の第三者継承で新規就農。広く地域の魅力を発信すべく農泊事業や企業研修など幅広い業態を営んでいる。

■安藤 智孝 (あんどう ともたか)

(有)コスモス 代表取締役。市役所や金融機関での勤務経験を活かし、肉牛農家の二代目として、引き継いだ事業の整理と新規開拓に取り組む。会社の目的を「社員とその家族の安定した幸せな生活」と定め、牛・社員・お客様の三方良しの経営を目指している。

■東條 真澄 (とうじょう ますみ)

(有)東條産業 代表取締役。東條産業は倶知安町富士見地区で特別栽培によるじゃがいも等の生産を営む。農産物の付加価値向上に向けて独自の農業経営に取り組んでいる。

参加申込

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX (011-210-7480) 又はEメール (hokkaido@smrj.go.jp) にてお申し込みください。(先着順受付)
*令和元年12月6日まで受付(申し込み多数の場合早期に締め切る場合があります。)

参加申込書

中小機構北海道本部 人材支援課 行き

(FAX 011-210-7480 Eメール hokkaido@smrj.go.jp)

令和元年 月 日

セミナー名	「地域に活力をもたらす新農業プロジェクト創出セミナー」(12月9日開催) ～農業を核として、地域で稼ぐ新たな産業の創出を！～		
ご住所・連絡先	〒 - 電話 () - / FAX () -		
農場等名 又は企業名等			
参加者名 (役職・担当等)	()	交流会*	
参加者名 (役職・担当等)	()	交流会*	

*交流会(名刺交換会)参加の方は、○をつけてください。(会場にて会費500円を申し受けます。)

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。
当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。
ただし、お客様の同意がある場合及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

中小機構北海道本部は、国の中小企業施策の実施機関で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行ってまいります。また、中小機構北海道本部が運営する「中小企業大学校旭川校」では企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

中小企業大学校旭川校 旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号 TEL0166-65-1200

中小 旭川校

検索

【お申込み・お問合せ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

人材支援課 担当：小林

札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階

TEL 011-210-7475 FAX 011-210-7480

Be a Great Small.
中小機構



中小 北海道

検索